

郷土研修会について

- 1 日 時 令和5年10月1日（日）8：00～18：00
- 2 目 的 神奈川県箱根町周辺の文化財を研修する
- 3 見学場所 箱根町立郷土資料館、箱根関所・箱根関所資料館
石仏群と歴史館
- 4 行 程
- (1) 往路 集合・出発（役場西）8：00→ 青梅IC・圏央道 → 海老名JCT→
厚木PA・トイレ休憩（15分）→小田原厚木道路 → 平塚PA・トイレ
休憩（必要に応じて）→ 小田原西IC
- (2) 箱根町立郷土資料館（10：00～11：00）
- (3) 箱根関所・箱根関所資料館（11：30～12：30）
箱根関所に隣接する「旅物語館レストラン」にて昼食をとります。昼食は12：40か
ら13：20を予定しています。13：30に駐車場に集合・出発します。
- (4) 箱根神社・宝物殿（13：40～14：20）
- (5) 元箱根石仏群・資料館（14：30～15：00）
- (6) 復路 → 「鈴廣かまぼこの里」とトイレ休憩（15：50～16：30）→小田原
西IC→〈必要に応じて 大磯PA・トイレ休憩〉→ 厚木PA・トイレ休憩（15分）
→青梅IC →役場西到着・解散18：00予定
- 4 教育委員会・ 教育委員会職員： 3名（町田館長 上出主査 谷亀主任）
審議会委員参加者 審議会委員名： 名 計 名
- 5 一般参加者 一般参加者20名
- 6 会 費
- ①参加費 1人 4,500円
- 内訳 交通費 1,600円（バス代、高速代金等）
昼食 1,760円
入館料 950円
（箱根町立郷土資料館、箱根関所・箱根関所資料館
箱根神社 宝物殿）
保険・雑費 190円
- ②審議会委員会費 2,710円（昼食代+入館料）
- 7 交通手段 貸し切りバス（大型1台 45人乗り）

8 車内研修（研修場所解説等） 担当：

① 箱根町立郷土資料館

常設展示では、箱根の温泉と歴史について紹介しています。江戸期、箱根は大名行列が行き交う関所の町であったが、明治期以降は外国人の来遊や、有力者の別荘地として栄えました。当資料館では、町の歴史が遺物とともに展示されています。また、伝統工芸品として有名な寄木細工についても紹介されています。10月1日に来館する際は、関東大震災に係る企画展が実施されている予定です。

② 箱根関所・箱根関所資料館

江戸時代交通史における重要な史跡である箱根関所は、建物群が2007年に完全復元され、当時の関所の様子を実感できるようになりました。同時代の生活の様相をうかがえる上番休憩所や足軽番所、関所破りの禁を犯した者を拘留した獄屋などが再現され、その時代の様子を垣間見ることができます。また別棟の資料館には、関所周辺を発掘した際の資料や、関所破りを企て失敗した罪人の顛末などが紹介されています。

③ 箱根神社・宝物殿

鎌倉時代の「貞永式目」付属の起請文の中で、日本国中の天津神の筆頭にあげられている大社で、鎌倉幕府の崇敬と庇護を受けました。宝物殿には万巻上人坐像（国重要文化財）、浴堂釜（国重要文化財）、親鸞聖人像などが収蔵・展示され、見学することができます。

④ 元箱根石仏群・資料館

元箱根石仏群は、上二尾山と駒ヶ岳の鞍部にある精進池しょうじんがいけのほとりに位置し、中世の地蔵信仰を物語る遺物として国の重要文化財に指定されています。この石仏群は鎌倉極楽寺の住職であった良観の支援を受け、大和国の石工である大蔵安氏の一派により作られたとされています。「曾我兄弟・虎御前の墓」「多田満仲の墓」「二十五菩薩」などが並ぶ佇まいから、箱根の歴史の古さを感じさせられます。無料で利用可能な資料館には、石仏についての概要が紹介されています。

9 その他

- ・ 集合場所まで車で来られる方は、役場正面駐車場をご利用ください
- ・ 傘などの雨具もご用意ください。
- ・ 当日、急に参加できなくなった場合は、事務局・上出主査まで連絡ください。

10 問合せ 瑞穂町郷土資料館 電話 042-568-0634 担当 上出・谷亀